園長室だより

令和2年度 第 12 号（2 月 26 日発行） 大阪市立立葉幼稚園長 岡林 朗子

いよいよ最後の園長室だよりになりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対策により多くの制限があり、手探りの一年でした。保護者の皆様には、幼稚園教育に対して、多くのご理解、ご協力いただいたこと、本当に感謝申しあげます。ありがとうございました。

子どもたちは日々、成長しています。多くの行事を経験して成長することもありますが、日々の友達とのトラブルを経験したり、日々の遊びの中で試行錯誤したり、この状況下でも強く、優しく成長しました。その姿は劇遊び、楽器遊びでも見ていただけたかと思います。ご家庭で安定して過ごし、その土台があるから、幼稚園で友達と一緒に楽しく過ごすことができるのだと思います。子どもたちの成長を保護者の皆様と一緒に実感できたことを嬉しく思います。

来年度に向けて、小学校や保育所と連絡を始めています。今年度はどうすれば危険なのか、どの方法が安全なのかわからず、手探りの中で、中止や延期になった行事を、来年度、どのような形でできるか、できる形を職員や保育所、小学校とで考え、子どもたちに様々な経験ができるように頑張っていきたいと考えています。小学校、保育所、地域との連携の年間計画を立て、進めているところです。来年度もどのような状況になるのか、予測困難ではありますが、子どもたちのため、質の高い教育を提供し続けることが使命と思い、志を高くもって、取り組んでいきたいと思います。

どうぞ、来年度もよろしくお願いいたします。

<各クラスのたてばっこだよりをご覧ください！>

ゆり組の舞台裏

ばら組劇遊び（保育室で）

もも組（お風呂ごっこ）

劇・楽器遊びについて

本来、3クラス揃って遊戯室で行うはずの生活発表会でしたが、今年度に限っては、各クラスの劇遊び、楽器遊びでした。例年『はじめのことば』は、3クラス合同で全員前に立ち、（段差あり）歌を披露していました。3クラス集まったときの子どもたちのかわいさは圧巻です。また、他のクラスの劇や楽器遊びを見ることで、「3歳のときはこんなだったなぁ」「5歳になったらこんなことができるんだ」と、学年の発達も見ていただけます。それが今年度できなかったのが、本当に残念です。でも、多くのアンケートでは、「ゆったり見ることができてよかった」と、肯定的に捉えてくださり、私たちとしては、少し安心しました。また来年度は、『生活発表会』として実施できればと思います。

各クラスの取組は、ぜひ『たてばっこだより』をご覧ください！！

お別れ園外保育（海遊館）に行けなかった分、雪遊びを楽しみました！

中止になったバス遠足と海遊館の会計を雪遊びにしました。子どもたちは、私たちの想像以上に存分に遊び、約１時間半、遊びに没頭しました。ソリ遊びをしたり、雪だるまを作ったり、積み上げげて遊んだり、それぞれに思いっきり遊んで楽しみました！

雪遊び用の服や手袋をご準備いただき、本当にありがとうございました！

雪山の準備

土山を雪の斜面にするために山を高くしました。土山の中にタライを入れて底上げしています。地面の固いこと固いこと…。偶然、大阪市の営繕園芸班が（事務所が元立葉小学校内）打ち合わせに来てくださっていたので、手伝ってくださいました！あっという間に高い土山が出来上がりました。たくさんの方の力を借りた雪遊びでした！

子どもたちのためにありがとうございます！

トラックペイント

木津運送と、企業のコラボで事故防止の取組で5歳児（29名）全員の絵が転写されました！合計10台のトラックに立葉幼稚園の5歳児の絵が描かれています。2月末からのお披露目会では、木津運送さんから、鉛筆（名前入り）が贈呈されました。約2年間、難波はもちろん、新大阪、神戸を走ります！　今年限定の取組になります。